

目標達成計画

作成日: 令和5年6月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23・26	ご本人やご家族の想い・意向の把握が十分にはできておらず、介護計画作成のためのカンファレンスに向けての情報収集の際にも、より良い暮らしに向けた課題やケアのあり方について、意見交換が不十分である。	意向や想いの把握ができ、介護計画にも十分反映させることができる。	日頃のケアの中で、ご本人の意向や想いが十分引き出せるような関わりに努め、職員同士でも情報共有を行い、介護計画に反映させる。また、ご家族とも気兼ねなく会話ができるような関係作りを構築し、希望や意向を表出しやすいよう心掛ける。	12ヶ月
2	49・60	感染症流行にて外出の制限を余儀なくされており、近隣の散歩や外気浴・ドライブ以外で一人一人の希望にそった外出支援ができておらず、楽しみの支援が十分に行えていない。	一人一人の希望に沿って、家族や地域の人々と協力しながら外出を楽しんで頂ける。	お一人お一人の行きたい場所・したい事等を汲み取り、感染対策や体調管理を十分に行いながら、ご家族・地域の人々の力を借りて、外出支援を行う。また、季節行事であったり、外食支援・買い物支援等を通して楽しみごとの支援を行う。	12ヶ月
3	35	年2回の地震・火災・避難訓練と共に、鳥栖十八防災の協力を得て消火訓練も実施しているが、感染症流行にて全体での避難訓練や消防立会の機会が減っているため、実際に想定した訓練が行えているが不安がある。	地震や火災・風害を想定した避難訓練を行うことで、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけることができる。	訓練内容の見直しを行うと共に、消防立会いのもと避難訓練を実施し、現状に即した避難訓練ができていないかの確認を行う。また、各部署だけでなく全体での避難訓練も実施し、集合の流れや場所・持ち物等の確認も再度行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。